



湾岸・アラビア半島地域ニュース

UAE：ドバイ経済事情

(4月8日付エミレーツ・トゥデー紙他)

1. ドバイ政府によるミディアム・ターム・ノートの発行による資金借入計画 (8日付現地各紙)

(1) ドバイ政府は、インフラ整備を目的とした資金調達のため、最大で150億ディルハム(40億米ドル)を借り入れる計画を発表した。

(2) この借入に関し、ドバイ政府は、ミディアム・ターム・ノート(MTN:債権発行元が金融機関との間で、条件の異なる中期債権を反復継続して発行することを取り決める契約)に基づき債権を発行する予定であり、エミレーツ・ナショナル・バンク・オブ・ドバイ及びスタンダード・チャータード銀行が取引金融機関となる。

(3) ドバイ政府は、2015年までに継続的に11%の成長率保持を目指している。今回の借入計画は、一般的な資本調達及びインフラ整備を念頭に置いたものであり、既に、先週ドバイ道路交通極は、今後5年間で525億ディルハム(143億米ドル)規模の道路交通整備を行う予定を発表している。

2. DPワールド社の07年の純利益大幅増 (8日付エミレーツ・トゥデー紙)

(1) DPワールド社の07年の純利益が、前年比52%で過去最高の4億2000万米ドル(15億ディルハム)に達した。また、金利・税金・賠償前利益(EBITDA)は11億ドル5000万米ドルであり、前年から95%増と大幅な上昇を示した。

(2) DPワールド社のスルタン・ビン・スレイエム会長は、07年の同社の収入は27億米ドル(前年比32%増)であったことを発表した。また同会長は、同社の稼働量は前年比18%増であり、世界市場の12.2%を大きく上回ったと述べた。

(3) DPワールド社は、世界中で40以上の港湾を管理・運営しており、同社の代表的な管理港であるジュベル・アリは、コンテナ取扱量で世界第7位の規模を誇っている。スレイエム会長によると、ジュベル・アリ港のコンテナ取扱量は、同社の全管理港湾のその30%に過ぎない。

(4) DPワールド社の関係者によると、現在同社は更に20の港湾開発・買収機会を検討しており、07年から10年にかけて41億米ドルの経費があてがわれている。

3.UAE 有力財閥であるアル・フタイム・グループ(AFG)による、シンガポール企業の株式大量購入(9日付ハリージュ・タイムス)

(1)ドバイを拠点とする AFG 社は、シンガポールのデパート・チェーンを展開する、ロビンソン・アンド・カンパニー社(RFG)の株式の88%を取得したと発表した。今後、AFGは、RCLの株式の保有比率を95%まで増加することを目論んでおり、総額16億ディルハムが投じられることとなる。

(2)AFG関係者は、今回の取り決めはAFGの東南アジア進出への足がかりとなると述べ、現在8カ国87店舗を有するAFGの活動規模を、今後5年間で2倍にする意向を示した。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799